

# 小学校区 島原



校章は優しく厳しい眉山をバックにハトを配し、平和な国際社会に飛び立つ子らの成長を願い1958(昭和33)年に制定。校旗(1976年に三小百周年記念作製)も同デザイン。それまでは1915(大正4)年制定の島原湊町の湊を象徴し、イカリに桜を中央に、周りを鎖で囲んだ校旗。



## あなたの編集局

### 明るく伸び伸び

昼休みは校庭で元気いっぱいに一輪車乗りなどで遊ぶ子供たち



みどりの風に声あげて  
よほほたえん眉山の  
尊き姿 仰ぎつつ  
学べば心清きかな  
島原第三 誇りあり

校歌にうたわれるように、本校は眼前に広がる緑いっぴいの眉山のすそ野にあります。子供たちは緑の風に元気そのものです。

創立百二十三年。威風堂々の築七十年の本館と築十七年の新館で五百十人の児童と三十六人の職員が共に学んでいます。

すなおで心の美しい子  
よく考え進んで学ぶ子

### 北風なんかへっぴり

力を合わせやりぬく子  
を目標に、学校、育友会、地域が心を一つにして頑張っています。

朝八時前、八十五の集団登校班が「おはようございます」の元気なあいさつを交わしながら登校してきます。八時五分になると、生活委員会の「あいさつ訪問」が始まり、学校中が生き生きとした子供たちでみなぎります。

友達を作るのも上手。自校給食を舌鼓の後は、眉山から「こたま」が返ってくるくらい、明るい笑いが校庭から響いてきます。一、二年生も平気で上級生の輪の中に

## 学校だあ〜いあ〜いあ〜い



2年生の楽しいおも祭りII学校体育館II



校内の池

# 読者がつくるページ

## 島原第三小学校区

島原市立第三小学校

校長 中島一雄  
 児童数 510人  
 創立 明治7年



校章は、  
 ックに  
 社会に  
 い1958  
 旗(197  
 製)も  
 1915  
 町の姿  
 中央に、



「たゆまざる 歩みお  
 そろし かたつむり」  
 故・北村西望先生の創  
 立百周年記念碑

### 輝く歴史と伝統

- 一八七四 (明治7)年 芳州・湊小学校創立
- 一九一五 校旗制定(イカリ・桜・波)
- 一九二四 島原第三尋常高等小学校に改称
- 一九四一 島原市第三国民学校に改称
- 一九四七 (昭和二十二年) 島原市立第三小学校に改称
- 一九五八 鉄骨新校舎落成・校章制定
- 一九五九 ソニー理科振興資金受賞
- 一九六一 昭和天皇・皇后両陛下ご視察・理科研究発表会開催
- 一九七五 情緒障害学級開設
- 一九九一 (平成三年) 普賢岳噴火で体育館が緊急避難場所に。第五小学校を受け入れ、二部授業を実施。
- 一九九四 降灰ひどくプール上屋根完成
- 一九九七 市教委指定「指導法改善研究発表会」公開授業



おじいちゃんたちの指導を受けて熱心に、しめ縄作りの子供たち



八幡神社の秋祭りで、子供たちも元気に、みこしかつぎ

### 地域ではぐくむ

伝統受け継ぐのは、ぼくら

三世代間に温もりが染みわたる一時です。  
 地域のコミュニケーショ  
 ャンの希薄化が叫ばれて  
 いますが「おいげん地区  
 は、そがんことほなか」  
 と縄をなう手に力が入り  
 ます。その姿は子供たち  
 の目にしっかりと焼きつ  
 いています。

白山地区健全育成会の  
 伝承事業は年間を通して  
 実施しています。中でも  
 年々参加者が増えている  
 のが、しめ縄作り。伝統  
 的な技術や習わしに触れ  
 させ、先人の思いの豊か  
 さを感じ取ってほしい。

### 白山地区健全育成会

自然に触れる機会が少  
 くなってきている子供た  
 ちに、自然の温(ぬく  
 もり)を、との願いがこも  
 っています。  
 おじいちゃんたちが、  
 手取り足取りの指導をし  
 ます。子供たちも真剣。

有明海に突き出た形の、島原半島の海の玄関口、本県で最も  
 東端に位置する小学校区が島原市立第三小学校です。学校裏の  
 山の名前から通称「白山地区」と呼ばれています。海岸線には  
 九十九島が浮かび、背後には緑の眉山がそびえています。風光  
 明媚な自然環境と、人々のやさしい人情の中で、子供たちは伸

び伸びと元気がいっぱい。学校、PTA、健全育成会、老人クラ  
 ブ、婦人会と地域が一体となった取り組みが、子供たちを温かく  
 包んでいます。白山の多くの人々とふれあい、子供たちはふる  
 さとが大好き。明るい未来を築いていく子供たちの瞳(ひとみ)  
 が輝いています。

# ひとみ 三小の子

明るく伸び伸び

暮らしは校庭で元気がいっぱい

乗りなどで遊ぶ子供たち

声は校庭から響いてきます。一、二年生も平気で上級生の輪の中に





# 希望を乗せて

## 風なんかへつちやらだ

力を合わせやりぬく子  
 目標に、学校、青年会、地域が  
 を一つにして頑張っています。  
 朝八時前、八十五の集団登校班  
 「おはようございます」の元気  
 あいさつを交わしながら登校し  
 きます。八時五分になると、生  
 委員会の「あいさつ訪問」が始  
 り、学校中が生き生きとした子  
 たちでみなぎります。  
 友達を作るのも上手。自校給食  
 舌鼓の後は、眉山から「たまご  
 返ってくるへらへら、明るい笑い  
 が校庭から響いてきます。一、  
 年生も平気で上級生の輪の中に



観光トロッコ列車で出発進行



今も息づく  
 浜の川湧水  
 名水百選の一つ「浜の川  
 湧水」写真は、水道が

## 広げよう友達の輪

—心の交流—

三小には、なかよし(情  
 緒障害児)学級、あいご  
 (障害児)学級があり、  
 普段から障害をもつ子供  
 たちとの交流が、ごく自  
 然な形で行われていま  
 す。毎年、高学年の一学  
 級が島原養護学校を訪れ  
 て、一緒にゲームをした  
 り、作品を作ったりして  
 楽しく過ごしています。  
 市内の特殊学級合同運  
 動会も本校の体育館で行  
 われ、全校児童が心のこ  
 もった手作りの万国旗で



運動会を盛り上げていま  
 す。十二月に行われた人権  
 集会写真では、子供  
 たちが作った劇をもとに  
 意見交換をしたり、手話  
 を取り入れた歌をみんな  
 で合唱したりしました。  
 お互いを思い合い、認  
 め合う、心豊かな子供た  
 ち。交流を通して優しい  
 笑顔の友達の輪が大きく  
 広がっています。  
 友達になるために  
 人は出会うんだよ

## 希望を乗せて

観光トロッコ列車に歓声

昨年四月、四年ぶりの島  
 の全児童が乗車しました。  
 原鉄道全線開通を機に、観  
 光トロッコ列車が秋まで運  
 行されました。乗客四万四  
 千人余り。平成新山と有明  
 海を一望でき、災害と復興  
 の語り部が人気を呼んで、  
 観光活性化に貢献しました。  
 このトロッコ列車に三小

### 精ろろ船作り

おじいさんたちと「え  
 いさ、ほいさ」と声を掛  
 け合って、竹にわらを結  
 びつけました。みんな、  
 にこにこしての精ろろ船  
 作り写真。お盆の日  
 に、この船をかつぎまし  
 た。船は重くて肩が痛く  
 なりました。でも自分た  
 ちの船が海に入って流れ  
 ていったときは、とても



のびのび少年デーに三  
 小・二小校区の公民館ま  
 つりが開かれました。史  
 跡探訪・囲碁・お話広場  
 ・凧(たこ)・竹トンボ作  
 り・もちつき・けん玉・  
 老少交流ゲートボールな  
 ど多彩な行事。育友会・  
 婦人会・老人会・青年団  
 ・教職員・健全育成会と  
 住民総参加で子供たちと  
 活動し競い合い、少年た  
 ちの躍動と笑い声や声援  
 が一日中、三小地区にこ



うれしかったです。  
 (六年・諸田洋介)  
 リンゴ皮むき大会  
 上田進

だましました。のびのび  
 育て少年!(白山地区青  
 少年健全育成協議会会長  
 ・上田進)

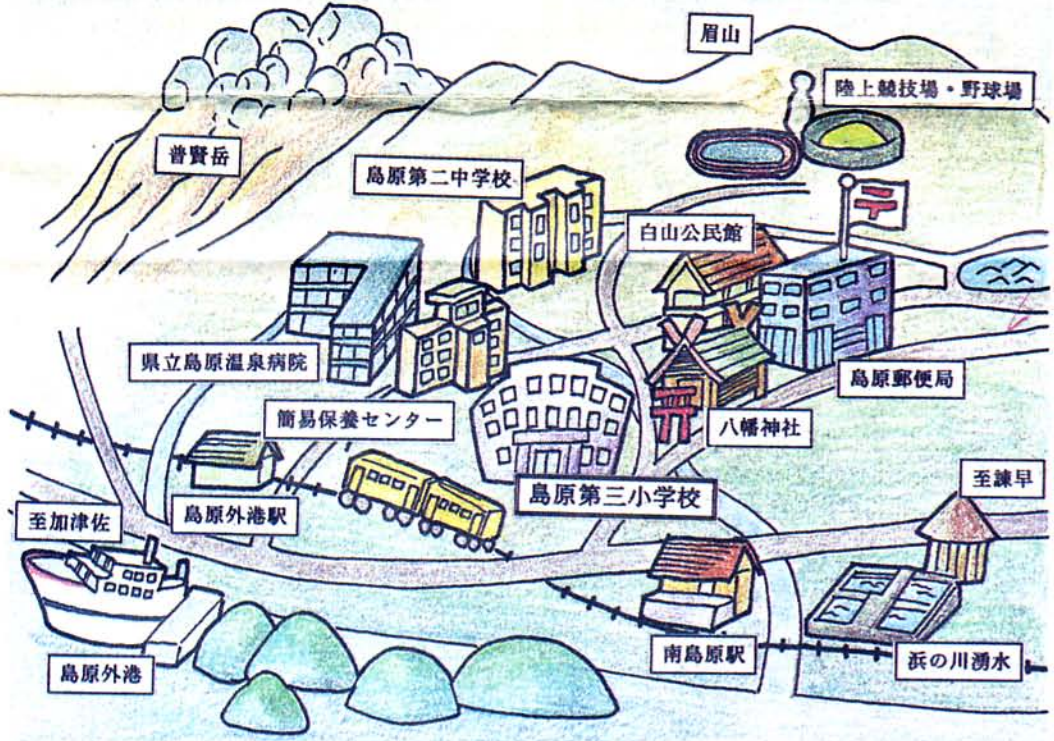
害からの復興に  
 ダス島原市  
 第三小学校

長崎県知事(般-1)第5578号  
 造園部/設計・施工・管理・剪定・庭園工事  
 (1年間、四季を通じて管理致します。)  
 生花部/生花スタンド(祝、仏、法事)・花束  
 アレンジ・花輪・花鉢及び観葉植物

## (有)大手口緑花園

代表取締役 田野井 直文  
 島原市栄町8336-1 (サンアイ横)  
 本店 TEL(0957)63-7798  
 FAX(0957)64-0432  
 杉谷営業所 TEL(0957)63-1853

河原医院  
 院長 河原 弘  
 島原市坂上町七五三四ノ一  
 0957(62)5413  
 内田医院  
 院長 内田 象之  
 島原市白山町五六ノ二  
 0957(62)7733



平成新山を望む観光トロッコ列車

新聞作りと三小を多くの  
人たちに知っていただく良  
い機会と思ひ取り組みまし  
た。ふれあひ生き生きの  
視点で、学校、地域の中で

## 私たちが編集しました

### 島原第三小学校PTA



- 校長 中島 一雄  
 教頭 吉田 恭子  
 教諭 吉田文子 前田京子 山本信子 熊本勇一朗
- ▽広報部  
 小川きよみ 芥 武夫  
 大場 淳子 森本 一徳  
 中村緑衣子 古瀬 則子  
 作元希久子 福田 幸江  
 岡野恵美子 荒木 志保  
 江越 由美
- ▽本部役員  
 会長 古川隆三郎  
 副会長 小松廣海 川副哲也 入江由紀子
- 私たちに勉強になりました。ご協力くださった方々にお礼を申し上げます。

普及してからも、おいしい飲み水として、また生活用水として地域の人たちに広く利用されています。便利さと引き換えに失われてしまった古き良き時代の光景が今も思っています。

浜の川の「銀水名物」かんざらし(白玉だんご)はこの清水で生まれました。今では、すっかり島原の味です。親子一緒に蜜(みつ)を作り、だんごを丸めたりして、家庭の味を楽しんでいます。



### 次回は長崎日大中学校

うれしかったです。  
 (六年・諸田洋介)

校内リンゴ皮むき大会に初めて挑戦する、わが子の姿を見守りました。手が付きが危なっかしくて皮がフツフツ切れるたびに、ハラハラドキドキ。でも最後までがんばって、むくことができた。これを機会に台所仕事を、少しずつ手伝わしてもらおう良いきっかけになりました。(五年・前田光太郎の母)

ハーモニカ校長先生  
 こうちようせんせいは三小の一ねんせいや、ほかのがくねんの人と、あそんでくれます。とってもうれいです。こうち

だましました。のびのび育て少年!(白山地区青少年健全育成協議会会長・上田進)

有意義な相撲大会  
 校内すもう大会は、一九八二(昭和五十七)年に発足し、毎年九月上旬に開かれます。子供たちは、けいこを通じて親の偉大さを感じ、目こにまわし姿も板についてきます。試合当日は、学校行事にめつたに足を運ばない父親も顔をそろえ、「はっけよい」の掛け声で始まる土俵に一喜一憂します。校内すもう大会は親子が心身共に一体となれる有意義な行事です。  
 (育友会体育部・境原一)

新ブランド入荷中!!

●K'sスタジアム●

くよ館  
れん

島原市栄町8501-1 ☎(0957) 63-0919

水と緑、歴史の香りゆたかな

しまばら温泉

かんぽの宿 島原 食堂部  
 (島原簡易保険保養センター)

海の幸、山の幸、ふるさとの味

(有) 島原観光食堂

代表取締役 山本 萬五郎  
 社長 同窓会会長 昭和15年卒)

噴火災害からの  
ガマダス島原

島原第三小